

第462号 3月号 2023.3.20

# 岐阜県 商店街だより



発行元：岐阜県商店街振興組合連合会 岐阜市薮田南 5-14-53 TEL: 058-277-1107



## YouTubeを活用したウィズコロナの抽選会 「柳ヶ瀬新春大抽選会 on the internet」開催

◆主催：柳ヶ瀬通一丁目～3丁目商店街振興組合

2023年1月2日(月)～15日(日)まで、「柳ヶ瀬新春大抽選会 on the internet」が開催されました。今回の抽選会は、柳ヶ瀬通1丁目商店街、柳ヶ瀬通2丁目商店街、柳ヶ瀬通3丁目商店街が合同で主催し、対象商店街でのお買い上げ(ご飲食)1,000円以上で抽選券を1枚お渡しし、抽選に参加いただくという企画です。



### ■ YouTube配信型の抽選会に挑戦

「本イベントは、これまで柳ヶ瀬通3丁目商店街が主催で行っていた恒例の新春企画です。2021年の時には、ものまねタレントである美川憲二さんをお招きしショーを行い、抽選も憲二さんが引いてくださるなど、大盛り上がりでした。

そして、2023年はウィズコロナを背景に、オンラインでの抽選に切り替え、新たなイベントの在り方に挑戦しました。3つの商店街を合わせて、10万枚の抽選券を配布することができ、多くの方にご参加いただきました。抽選会

は、YouTubeにて抽選の様子を配信しました。リアルの会場で行っていた時と比べると、来場者の方の顔が見えない分少し淋しいかなという思いはありました。動画でも1つ1つ番号を引いて、リアルでの抽選会場と変わらない方式で抽選しましたので、視聴していただいた方には、ワクワク感を提供できたのではないかと思います。」



▲YouTubeで配信された抽選会の模様

### ■ リアルとデジタルの良い点を企画に活かす

「新春大抽選会と並行して、『新春なぞときラリー in 柳ヶ瀬本通』を開催しました。小学生とそのご家族を対象として、1月14日(土)～15日(日)の2日間で、LINEを使ったクイズラリーを行いました。QRコードを読み取ると専用のゲームが立ち上がり、エリアを回ってクイズを解いてもらう企画で、2日間で1,000人の参加をいただきとても好評でした。

昨年11月に「柳ヶ瀬商店街 × F C G I F U

「パブリックビューイング」で実施した、映像配信型イベントを始めとして、今年度は商店街へのデジタル活用に積極的に挑戦した1年でした。今後は従来のような対面でのイベントも増えてくると思いますが、今回得た経験を元に、リアル

とオンラインの良い点を取り入れて、ウィズコロナ時代の商店街の在り方を、皆さんと一緒に模索していきたいと思います。

(お話：柳ヶ瀬通3丁目商店街 理事 平田さん)

## レトロで温かい商店街の魅力を知ってもらいたい！ 「日ノ出町商店街 銀幕スタンプラリー」開催

◆主催：日ノ出町商店街振興組合

2023年1月14日（土）～22日（日）まで、「日ノ出町商店街 銀幕スタンプラリー」が開催されました。日ノ出町商店街の参加店舗でお買い物をして、2店舗分のスタンプを集めると抽選会に参加できるイベントで、43の店舗が参加しました。



### ■ 来街者との接点をつくる

「本イベントは、日ノ出町商店街のプロモーションを目的に企画しました。私たちの商店街は、柳ヶ瀬名物の1つになっている定期市、“サンデービルディングマーケット（通称サンビル）”の会場になっています。サンビルは、開催が100回を超す人気のマルシェで、毎回大勢の来街者が訪れます。それに合わせて、私たち商店街のお店にも立ち寄っていただきたいと考えていますが、外から訪れる人にとって、商店街の店舗に足を踏み入れるのは敷居が高いようで、来

街者の方々と私たち商店街の店舗との接点をいかにつくるかが課題でした。

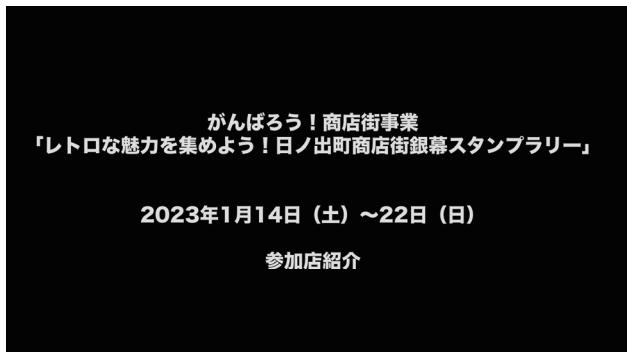
そこで今回は、何度も商店街に訪れていただけるようにと、2店舗分のスタンプを集めもらうこと、そして抽選会を1月22日（日）の最終日に行うことにして、複数の来訪きっかけをつくりました。更に今回は、「信長まつり騎馬武者行列」で、岐阜に大きな話題を提供してくださった木村拓哉さん主演の『レジェンド&バタフライ』の映画チケットをプレゼントすることで、商店街にある映画館「シネックス」の利用促進も図りました。担当者からは、“いつもよりも利用者が多かった”と、狙い通りの効果があったようよかったです。

### ■ 店舗のプロモーション動画を作成

「スタンプラリーを実施するにあたり、参加店舗が出演するプロモーション動画を作成して、PRをしたことも新たな取組みでした。“何をやっているお店かわからない”と言われることも多かったため、店舗の様子を映像化することで、少しでも入りやすさに繋がればという思いで制作しました。その他、商店街のフラッグを活用した告知や、専用マップの配布など、イベントの周知に力を入れたことも功を奏し、最終日の抽選会には、430名ほどの方が参加してください大盛況となりました。

お子様連れから若い方、高齢の方まで幅広い層の方が参加してくださり、日ノ出町商店街の魅力を知っていただくという目的は、十分達成

できたのではないかと感じています。」



▲8分のプロモーション動画をPRに活用

## ■ イベントを継続し来訪を促進

「今回、日ノ出町商店街として久しぶりのイベントとなりました。各店舗の皆さんも協力的で、商店街に連帯感が生まれたこともよかったです。今回は補助金を活用しての事業でしたが、今後は自分たちでも開催していくのではないかと話し合っています。スタンプラリーの他にもいろいろな企画とコラボすることで、更なる盛り上がりを作っていくとも考えています。こうしたイベントを通して、新しいお客様が日ノ出町商店街のお店を利用してくれるきっかけにしていきたいです。」



▲抽選会はたくさんの方々が参加し大盛況

(お話：日ノ出町商店街振興組合 副理事長 岩田さん)

# こだわりぬいた唯一無二の味でお店を守る 本家豆大福 だるま堂 本店 (各務原那加中央商店街振興組合)

『本家豆大福 だるま堂』は、1939年に創業して、今年で84年を迎えた各務原市の老舗和菓子店です。3代目店主の日置茂都顕（もとあき）さんにお話を伺いました。



▲京都をイメージしたお店の外観

## ■ 唯一無二の商品を目指して

茂都顕さんは、大学を卒業後、京都の和菓子店で1年修行を行い、初代・2代目とともに、だるま堂で働き始めました。働く中で「唯一無二の商品を作りたい」という想いを持ち、2代目とともにお店のルーツである、大福もちを生かした商品づくりを始めました。試行錯誤を重ねて完成させたのが、お店の看板商品となった「名物 豆大福」です。平成15年には「全国菓子大博覧会」にて、『内閣総理大臣賞』を受賞しました。毎日2,000個ほど販売されています。

## ■ こだわりの製法と素材

「大福の生産は、朝5時から始めて昼過ぎま



▲名物 豆大福

で、1日の販売分を生産します」創業以来変わらぬ、手作りの味でお客様をもてなしています。「天気・湿度・温度など、条件によってものつき方を変えていいます」長年の経験だからこそできる職人技です。「素材もこだわっています。もち米は、地元飛騨高山産を使用。黒大豆、小豆は、北海道産を使用しています」国産の厳選天然素材を使用してつくられる豆大福は、上品で優しい味わいです。



▲3代目店主 日置茂都顕さん

## ■ 全国にファンをつくりたい

3代目となってから様々な取り組みを行ってきた茂都顕さん。その1つが「ネット販売」です。「今は世の中が便利になり、全国へお店の味を届けることができるようになりました。もっと日本中に当店のファンをつくりたいです」「ホームページのリニューアルを予定しているので、ネット販売も強化していきます」豆大福を看板商品として発信し、各務原市を知ってもらうことで、地元を盛り上げていきたいという気持ちが伝わりました。

本店には、イートインスペース『大福茶屋』もあります。「夏には『豆大福氷』、冬には『ぜんざい』を提供しています。本店でしか味わえないので、ぜひ多くの方にお越しいただいて召し上がっていただきたいです」



▲壁に大きな「だるま」が描かれた内観

住所：各務原市那加東那加町17番地

T E L : 0120-28-0523

営業時間：8:30～19:00

定休日：火曜日(祝日は営業)

【取材・記事 中小企業診断士 二宮佳代】

## ◆ 令和5年度予算案「地域商業機能複合化推進事業(地域の持続的発展のための中小商業者等の機能活性化事業)」公募開始

令和5年度予算案「地域商業機能複合化推進事業(地域の持続的発展のための中小商業者等の機能活性化事業)」は、中小商業者等のグループが、商店

街等において、来街者の消費動向等の調査分析や新たな需要の創出につながる魅力的な機能の導入等を行い、最適なテナントミックスの実現に向け

た仕組みづくり等に取り組む実証事業を、地方公共団体が支援する場合に、国がその費用の一部を補助するものです。

※本事業は、政府が令和4年12月23日に閣議決定した令和5年度予算案に盛り込まれている事業に関するものであり、速やかに事業を開始できるようにするために、予算成立前に募集の手続を行うものです。実際の事業実施には当該予算案の国会での可決・成立が前提となりますので、今後、内容等に変更が生じる可能性があることを予めご了承ください。(令和5年3月1日現在)

※本公募は、商店街等組織又は民間事業者(間接補助事業者)への補助金(間接補助金)の交付を行う地方公共団体を公募するものです。商店街等組織又は民間事業者の方が応募される場合は、所在地の都道府県又は市区町村へお問い合わせください。

## 事業概要

本事業は、地域のニーズや新たな需要に対応しようとする取組等を後押しし、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展を促進することを目的としています。

商店街等組織又は民間事業者が、商店街等において、来街者の消費動向等の調査分析や新たな需要の創出につながる魅力的な機能の導入等を行い、最適なテナントミックスの実現に向けた仕組みづくり等に取り組む場合、その事業に要する経費の一部を地方公共団体とともに補助します。

## 補助対象事業者

地方公共団体(都道府県及び市町村(特別区を含む))

## 間接補助事業の概要

### 1. 間接補助事業者

商店街等組織又は民間事業者

※詳しくは募集要領をご覧ください。

### 2. 間接補助事業の内容

### ①消費動向等分析・テナントミックス構築事業(ソフト事業)

商店街等において、空き店舗等を活用した創業支援等の実施とともに、顧客の属性・消費動向等を調査分析し、最適なテナントミックスの実現に向けた仕組みづくり等を行うことで、地域のニーズや新たな需要に対応し、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展に繋がる事業。

### ②商店街等新機能導入促進事業(ハード事業)

商店街等において、商店街等にない新たな機能の導入に係る施設整備等を行い、顧客の属性・消費動向や商店街等のエリアへの波及効果等を調査分析するとともに、最適なテナントミックスの実現に向けた仕組みづくり等を行うことで、地域のニーズや新たな需要に対応し、商店街等の多様な機能の活性化と地域の持続的発展に繋がる事業。

## 補助率・補助額

### ①消費動向等分析・テナントミックス構築事業(ソフト事業)

地方公共団体が間接補助事業者に交付する額の4／5以内、上限額400万円

### ②商店街等新機能導入促進事業(ハード事業)

地方公共団体が間接補助事業者に交付する額の2／3以内、上限額4,000万円

※地方公共団体の補助率等は、所在地の都道府県又は市区町村にお問い合わせください。

## 募集期間

### 一次募集

募集開始日：令和5年2月22日(水)

締切日：令和5年4月24日(月) 15時必着

※一次募集にて予算額に達した場合、二次募集は実施しません。二次募集の実施の有無や日程詳細は中小企業庁等のホームページにおいてお知らせします。

※経済産業省では、補助金申請手続のワンストップ化と完全電子化を推進していますので、応募書類は原則として、補助金電子申請システム「j Grants」を利用して提出してください。

い。

j Grantsを利用するにはGビズIDの取得が必要です。ID取得までに1ヶ月程度の期間を要する場合がありますので余裕を持って準備してください。

j Grantsを利用する場合、締切日の15時までに申請を実施したものが有効です。

#### 募集要領等

中小企業庁のホームページをご覧ください。

#### お問い合わせ先

中部経済産業局 流通・サービス産業課 商業振興室

TEL: 052-951-0597

## ◆ 令和4年度第2次補正予算「面的地域価値の向上・消費創出事業」の公募

### 事業概要

コロナ禍による来街者ニーズの多様化や、足元の円安メリットを活かしたインバウンドの回復等が期待される中、商店街等が自らの魅力・地域資源等を用いて実施する滞留・交流空間整備や消費創出事業等を支援します。

その際、地域活性化等の知見を有する専門家が伴走し、事業実施中における定期的な効果測定及びそれに基づくアドバイス等を重ねることで、地域の面的な「稼ぐ力」の向上に繋げます。

### 補助対象事業者

1. 商店街等組織
2. 民間事業者と商店街等組織の連携体

### 補助事業の概要

#### (1) 専門家による伴走支援

専門家が事業効果等を定期的に確認しながら面的に伴走支援

#### (2) 消費創出事業

回遊促進事業、体験事業、交流事業、ブランディング、情報発信強化など

#### (3) 滞留・交流空間整備事業

空き地・空き店舗の利活用、店舗等の機能転換、歩道等の利活用、景観整備(統一化)など

※(1)及び(2)が事業計画に含まれていることが必須条件となります。

### 補助率・補助額

●補助率：2／3

●補助額：上限額3,000万円  
下限額200万円

### 募集期間

募集開始日：令和5年3月6日(月)

締切日：令和5年4月10日(月) 15時必着

※経済産業省では、補助金申請手続のワンストップ化と完全電子化を推進していますので、応募書類は原則として、補助金電子申請システム「j Grants」を利用して提出してください。

j Grantsを利用するにはGビズIDの取得が必要です。

j Grantsを利用する場合、締切日の15時までに申請を実施したものが有効です。

### 交付要綱・募集要領等

中小企業庁のホームページをご覧ください。

#### お問い合わせ先

中部経済産業局 流通・サービス産業課 商業振興室

TEL: 052-951-0597



岐阜県商店街だよりは、岐阜県からの補助金を受けています。